



通知表は子どもを励ますきっかけです

間もなく前期終了を向かえ、通知表を子どもたちが持ち帰ります。通知表は、この 6 ヶ月間のお子様の学習の記録であり、歩んできた記録です。

現在の評価は、「絶対評価」といって、設定した目標（ここまでできてほしいという目標）に達成しているかどうかで評価する三段階の評価です。テストの成績ばかりでなく、授業での発表内容やノートの記録、家庭学習のがんばり等も加味して評価しています。「よくできる」が何個かというような見方ではなく、所見欄もよくお読みいただき、どの教科のどんな所で力が発揮されたのか、どんな成果が上がったのか等、お子様の努力の様子もご確認ください。

また、「生活の様子」では、あいさつや後始末などの基本的な生活習慣、約束やきまりを守っているか、仕事への取り組み方かどうか等を評価しています。生活の姿に表れる力は「見えない学力」として、学習の意欲や成長を左右する大切な要素です。

たくさんほめられた子どもは、人のよさに気付き、人を認められる人間に育っていきます。通知表を、学校生活について子どもと会話を交わすひとつのきっかけとしていただきたいと思います。内小友の子どもたちは、一人残らずみんなよい子です。この通知表で、学習面・生活面のよさを認め励ましてくださいますようお願いいたします。

実りの秋に感謝 ～明日の稲刈り、よろしくお祈りします～

今日、10月3日は全校で学校田の稲刈りの予定でしたが、雨のため明日に延期となりました。ご協力いただく予定だった方々にはご迷惑をおかけしてしまいます。田んぼは、春の田植えの頃の緑からすっかり黄金色に変わり、稲の成長をとおして感じられる自然の力や収穫の喜びを子どもたちなりに感じ取ってほしいと思っています。米作りには八十八の手間がかかると言われますが、これまでご協力いただいたJA内小友



支店、営農センターの方々、そして保護者の皆さんやおじいちゃん、おばあちゃん方のご高庇に厚く御礼申し上げます。明日の稲刈り、よろしくお祈りいたします。

また、10月2日には1・2年生がさつまいも堀をしました。立派なさつまいもが鈴なりに土の中から出てくると、子どもたちは大興奮でした。収穫したいもは、なべっこ会で焼き芋にして全校でいただく予定です。



収穫したいもを手に大満足の1・2年生